

2018年度GSCM-WG活動報告 貿易業務の現状の課題と今後の期待

2019年5月28日
情報通信委員会
GSCM-WG

輸出入業務データの標準化と課題

1.これまでの活動経緯と2018年度の活動

2.活動報告

- 輸出入業務を取り巻く動向調査（貿易情報連携基盤の調査）
 - ✓ 国の取り組み
 - ✓ 海外の状況
- 貿易業務の現状の問題
 - ✓ 貿易手続きの特徴
 - ✓ 貿易手続きの問題
 - ✓ 問題発生 of 構造

3.2019年度活動方針

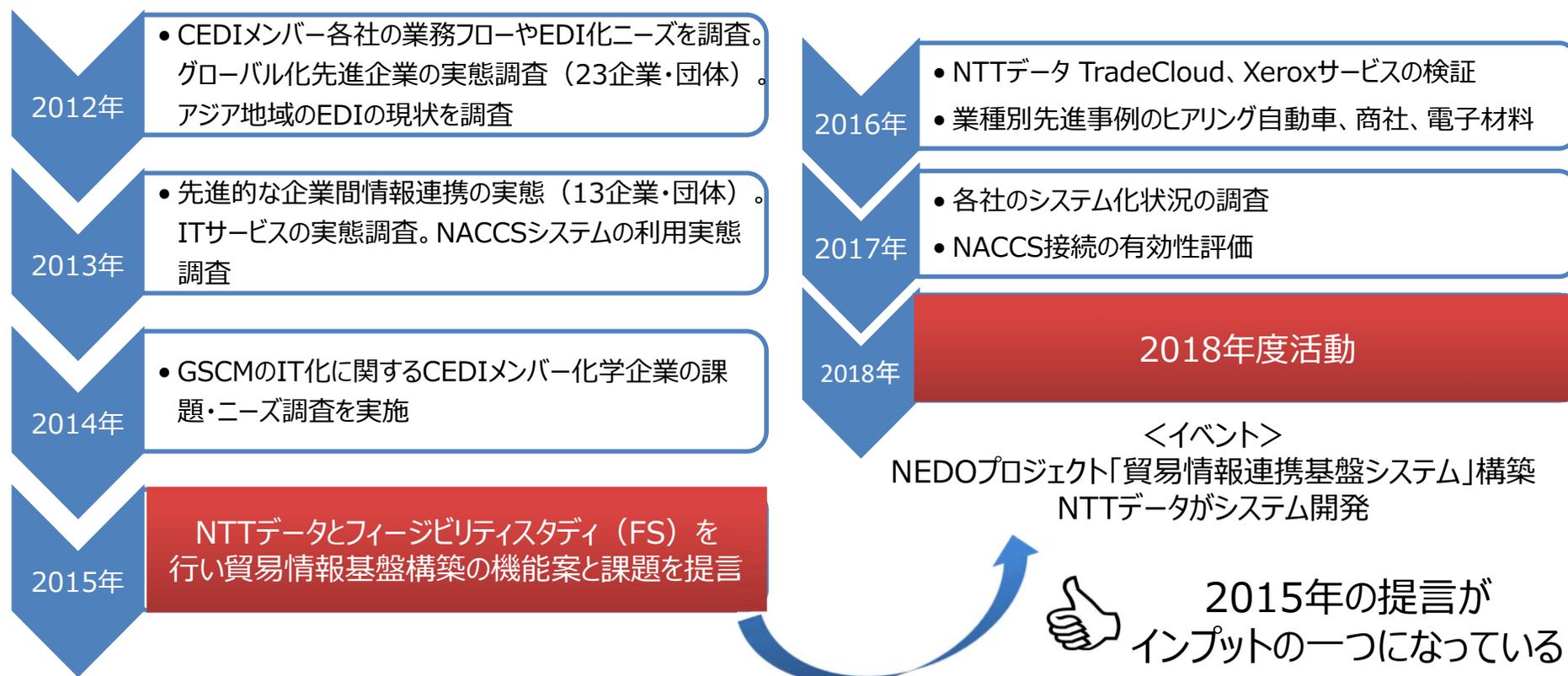
- 貿易情報連携基盤への期待
- 2019年度活動方針

これまでの活動経緯と2018年度の活動

これまでの活動経緯

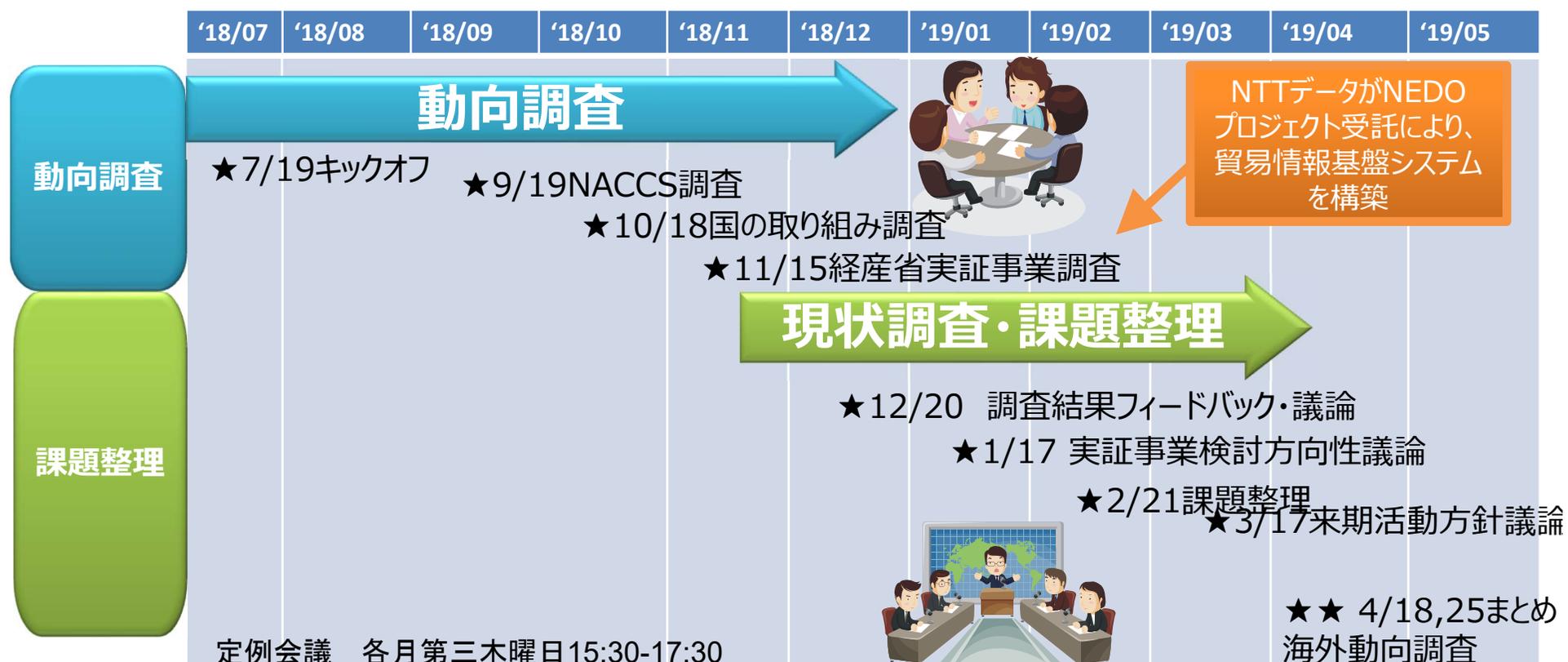


GSCMワーキンググループは、旧CEDI小委員会の国際WG活動として、GSCMへのICT利活用に関する調査研究を行うチームとして結成され、2012年6月から活動開始。



1. 2018年度活動の概要

7月にキックオフを行い、毎月第3木曜日15時から17時に計11回の会合を実施。
 今年度は、NEDOの貿易情報連携基盤システムをはじめとする国内外の動向調査と、
 各社の貿易手続きに関する現状と課題整理を実施。



活動報告

輸出入業務を取り巻く動向調査 (貿易情報連携基盤システムについて)

国の取り組み NEDO貿易情報連携基盤の実証事業

■ 概要

- ・NEDO※（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）が実施する実証事業
- ・NTTデータがシステム開発を受託

■ 目的

貿易手続きに関わる事業者の生産性向上と輸出リードタイムの短縮に寄与すること

■ スケジュール

実証実験：2018年7月～2019年3月末

社会実装：2019年度中

■ コンソーシアム参加業種

輸出者、フォワーダ、船会社、銀行、保険、陸運

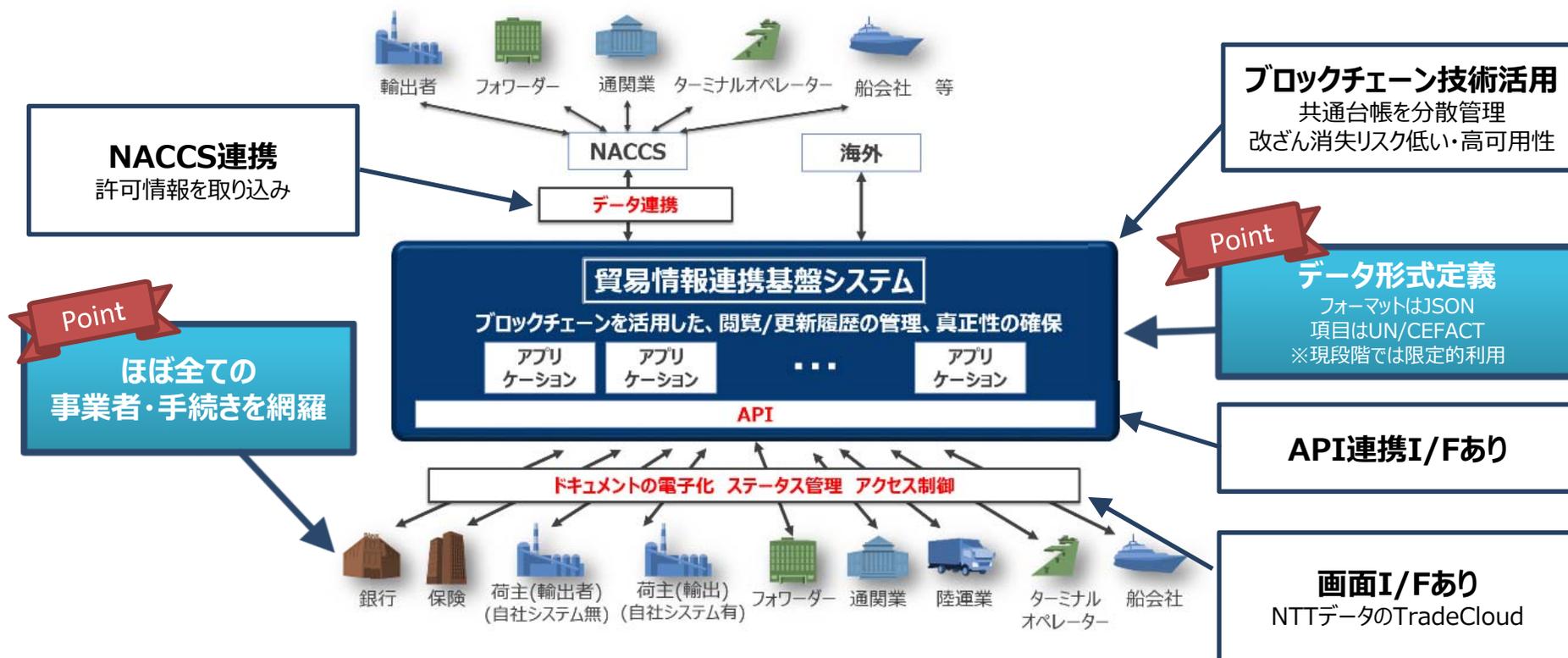
■ 貿易情報連携基盤の特徴

- ①貿易に関わるほぼ全ての事業者が1つの連携基盤システムを通じてほぼ全ての貿易手続きのやり取りが可能
- ②データ標準や共有ルールの策定作業
- ③インターフェースとして連携APIと操作画面を提供
- ④NACCS ※とのデータ連携（許可証をNACCSから取り込み）

※NEDO : New Energy and Industrial Technology Development Organization

※NACCS : Nippon Automated Cargo and Port Consolidated System Inc.
輸出入港湾関連情報処理センター(株)

国の取り組み NEDO貿易情報連携基盤の実証事業



海外の動向

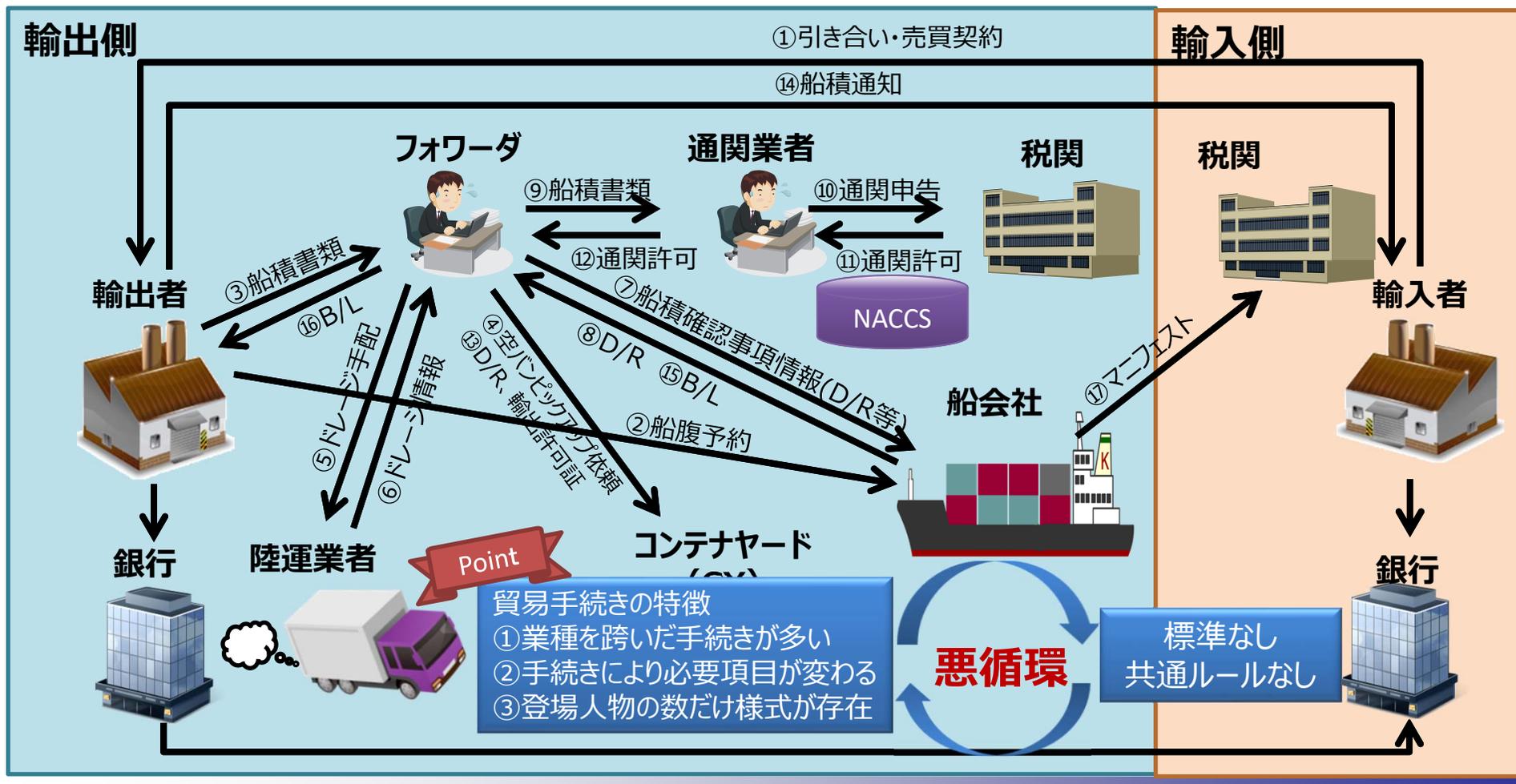


国/地域	プロジェクト	概要	参加者	時期
欧州、米国、他	TradeLens	<ul style="list-style-type: none"> 世界最大の船会社MaeskとIBMとの合併事業（6/1設立） 	<ul style="list-style-type: none"> 欧米、日本等の製造業者、海運会社、港湾ターミナル事業者等へ広く参加を呼びかけ 	2018年中にサービス開始
欧州、アジア	GSBN	<ul style="list-style-type: none"> Maesk対抗陣営による取組 貿易・船積書類手続電子化を目指す 参加各社によるアプリケーション持寄り 	<ul style="list-style-type: none"> CMA-CGM（仏）、コスコ、ハチソン、PSA等大手コンテナ船会社9社 技術はカーゴスマート（香港） 	2018年中にサービス開始予定
欧州	We.Trade	<ul style="list-style-type: none"> 欧州の7つの主要銀行が、ブロックチェーンを活用した貿易金融プラットフォーム構築 	<ul style="list-style-type: none"> KBCグループ（ベルギー）、ドイツ銀行（ドイツ）、HSBC（イギリス）等 IBM 	2018年サービス開始
中国	バイエリア貿易金融ブロックチェーンプラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> 中国銀行協会が立ち上げたプラットフォーム。貿易金融取引の効率とセキュリティ向上が目的としたもの。 今後、中小銀行、税関および税務機関を含める予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 中国銀行協会（CBA） 地域の10以上の大手銀行（HSBC（中国）、中国の銀行、中国商人銀行、平安銀行、中国郵便貯蓄銀行等 	2019年1月検討開始
韓国、ベトナム	e-C/O Exchange Data	<ul style="list-style-type: none"> 韓国・ベトナム関税当局者同士で実施 ブロックチェーンを活用した電子原産地証明書の共有 	<ul style="list-style-type: none"> 韓国税関 ベトナム税関 	2018/6-2019年中にPoCを検討
香港	HKTFP (Hong Kong Trade Finance Platform)	<ul style="list-style-type: none"> 貿易金融の効率化を目的に貿易情報を共有するプラットフォーム。 	<ul style="list-style-type: none"> HKMAが主導し、香港の大手銀行10行Deloitteによるプロジェクト。 中国平安保険がシステム構築 	2018年11月サービス開始
シンガポール、香港	GTCN (Global Trade Connectivity Network)	<ul style="list-style-type: none"> 貿易情報を複数の国で共有し、貿易金融の電子化を推進するプロジェクト。 既に20以上の銀行や金融機関が参加。 	<ul style="list-style-type: none"> MASとHKMA（Hong Kong Monetary Authority, 香港金融管理局）が中心となってプロジェクトを推進。 	2017年活動開始

貿易手続きの特徴と課題

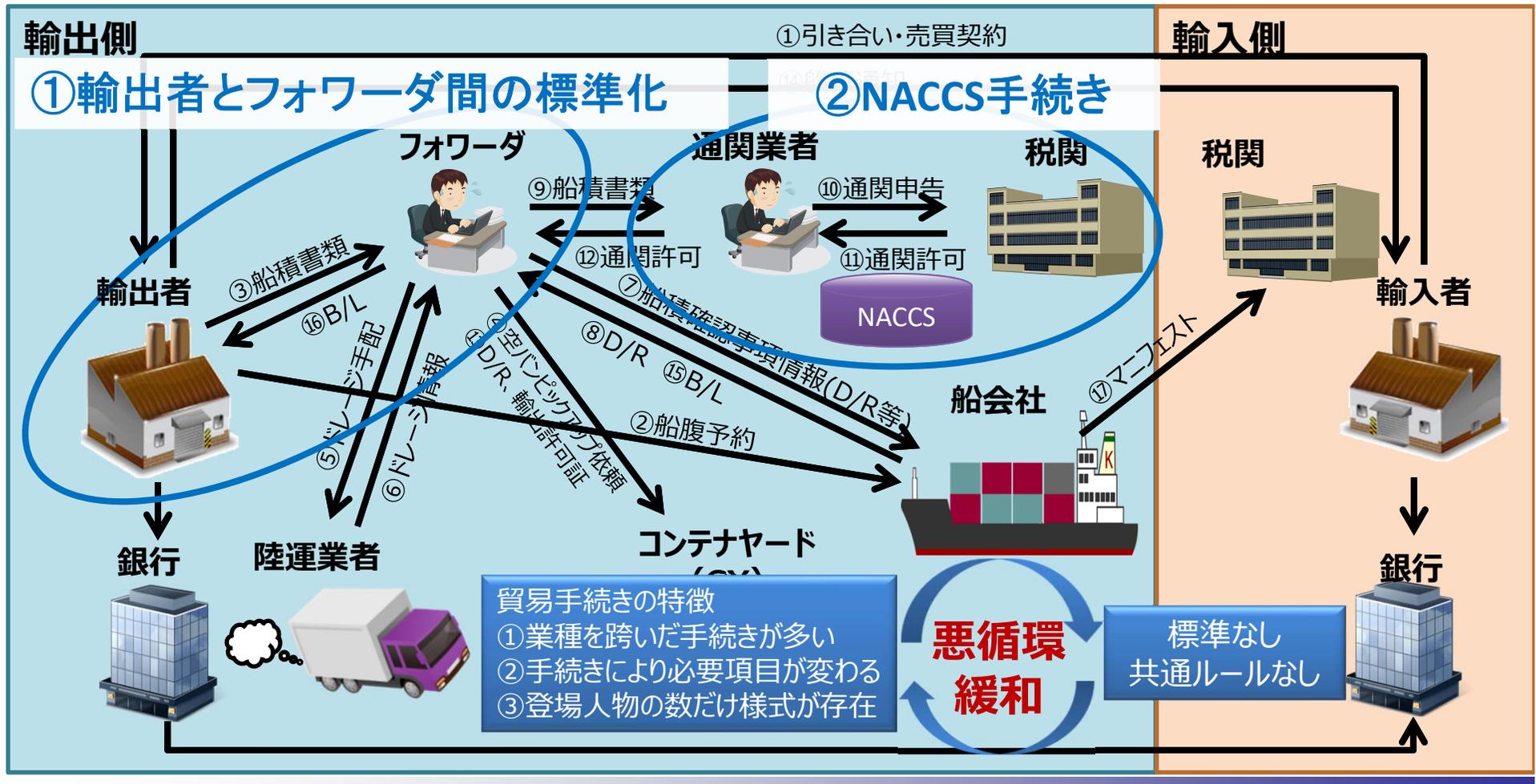
貿易手続きの特徴

貿易手続きの特徴が要因となり標準化・共通ルール確立が困難な状況となっている。
逆に標準・共通ルールがないことにより、貿易手続きが煩雑になる悪循環に陥っている。



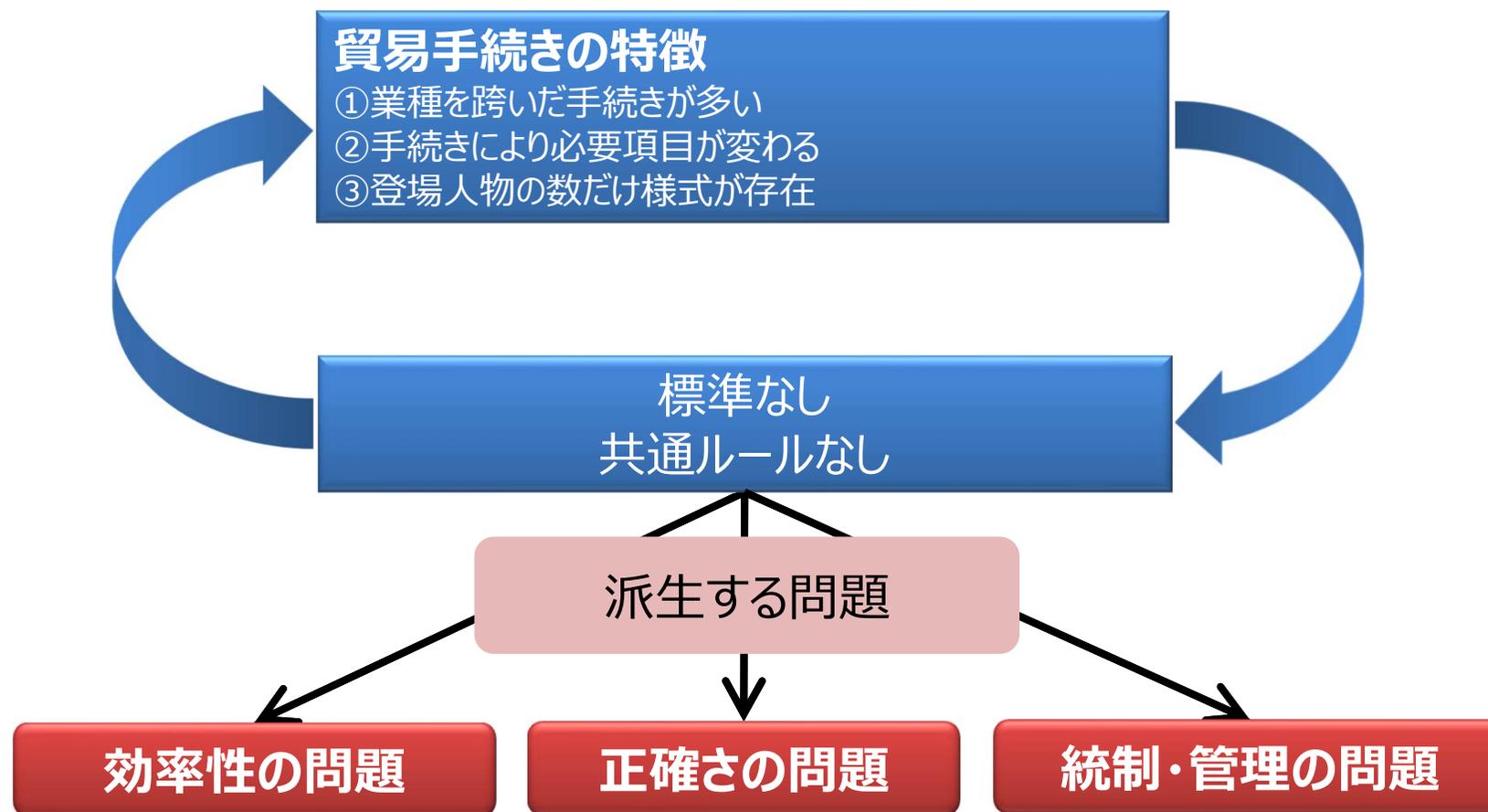
各社の取り組みのターゲット

悪循環を緩和すべく各事業者は下記範囲をターゲットとして標準化・システム化を実施している。
また、会社によっては輸入者である海外現地法人とのシステム連携を検討している。



貿易手続きの問題のまとめ

貿易手続きの特徴により標準なし、共有ルールなしといった状況が引き起こされている。そこから効率性の問題、正確性の問題、統制・管理の問題が派生している。



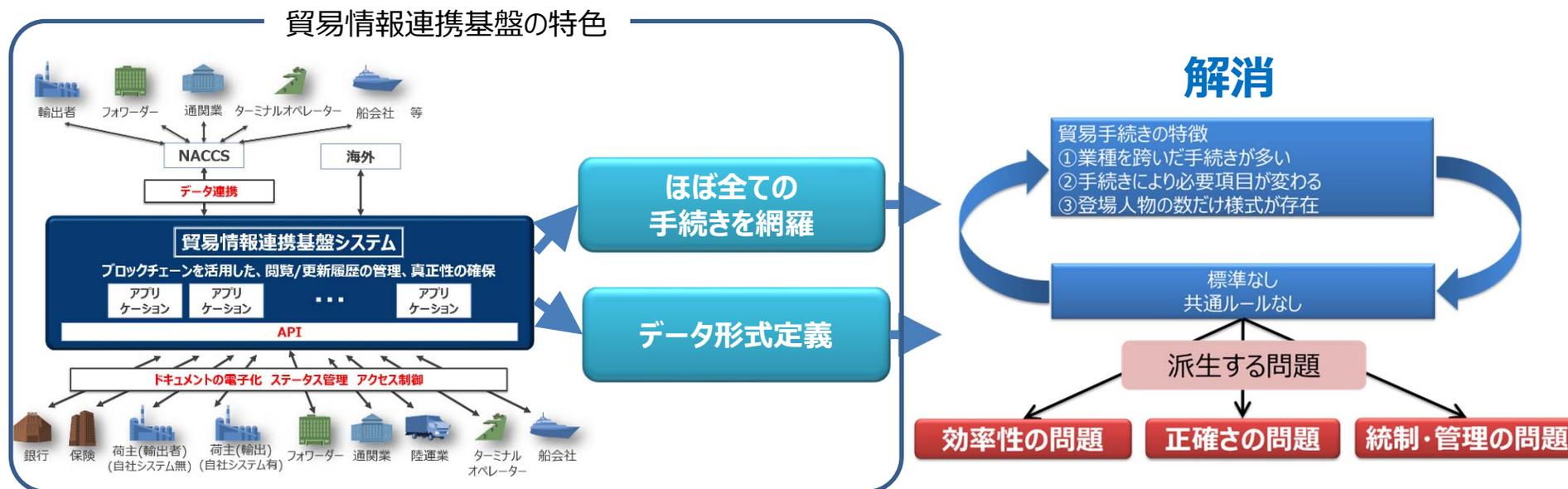
貿易手続きの問題

具体的には以下のような問題が発生している。

	効率性の問題	正確さの問題	統制・管理の問題
 輸出者	<ul style="list-style-type: none"> メール・紙の受注の手入力 通関・船積書類の手動作成 	<ul style="list-style-type: none"> 人手での再入力による誤り バージョン誤り(数量・日付など) 	<ul style="list-style-type: none"> 進捗把握困難 全社統制困難 情報漏えい 情報開示範囲の不備
 フォワーダ	<ul style="list-style-type: none"> 物流会社への指示手入力 NACCSと紙書類の2重転記 	<ul style="list-style-type: none"> NACCS転記時の誤り バージョン誤り(数量・日付など) 	<ul style="list-style-type: none"> 進捗把握困難

貿易情報連携基盤への期待

貿易情報連携基盤システムは、貿易手続きのほぼ全てのプロセスを網羅している。また、貿易情報連携基盤システムの中ではデータ形式（標準）が定義されている。このシステムへの連携により貿易手続きに関わる問題の解消につながることを期待している。



2019年度活動予定

2019年度活動予定

目的：貿易情報連携基盤を石化協参加各社が導入を検討できるようになること。

内容：①実効性・動向の情報収集②導入イメージ③導入方法の検討

